



おしゃべりキッチン
 台所は家の中心
 親子で料理、
 親子で片づけ
 今日のおしゃべりは、
 笑顔の味つけ

きちんと収納
 たくさん遊んで、
 きちんと片づけ
 整理整頓は、
 自立の一步

なんでもクローク
 靴はもちろん、
 遊び道具に
 ベビーカー
 なんでもクローク
 片づけ上手

ゴロンとたたみ
 「添い寝」「ハイハイ」
 ゴロンと寝がえり
 広がる親子のスキンシップ

リビングデスク
 本を読むのも
 お絵かきも
 やっぱりママのそばがいい

※今回の見学会の
 間取りとは異なります。

家ができる子育て支援 =間取り編=

家をつくる時、耐震や居住性能は重要です。でも、ここでは間取りについてお伝えしたいと思います。

間取りを考えたときの重要ポイントに家事動線が挙げられます。でも、子育て家族に1番考えて欲しいのは家族のふれあいを生み出す動線です。子育てを楽しくするのも、家族関係を豊かにするのもこの「ふれあい動線」が大きく関わります。そして「ふれあい動線」を支えるのが家族みんなの顔がそろう場所＝パブリックスペース＝です。絵本を読んだり、宿題したり、その日の出来事を話したり いろいろな事ができる場所・・・親も自分の事をやりながら子どもの話に耳を傾け、時には手伝ったり、手伝ってもらったり。こんな場所があるだけで親子のコミュニケーションの量も質もグーンと高まります。

みんなが色々な事をしながら
 色々な話をする
 伝えたいことを
 全身で伝えようとする子
 それを一生懸命理解しようとする親
 時にはその逆

それは、将来の立派なおとなを育て、かけがえのない家族をつくる場になります。

はるさんの読んだ本

「頭の良い子は立派な子供部屋では育たない」という話の本なんです。では、どこで育つのか？実は「家の公共空間＝パブリックスペース」で育っているのだそうです。そのカギは、家族で交わすコミュニケーションの量。「孤立した空間にこもって勉強している子」と「家族と顔を合わせて勉強している子」とでは物事を説明する力や、他者の話を聴く力が格段に違ってくるのだそうです。これが「学ぶ力」の差になる。ということで「頭の良い子は立派な子供部屋では育たない」と、なるんだそうです。